

平成 24 年度

## 共済組合の貯金事業概要

佐賀県市町村職員共済組合

# 目 次

◆ 平成 24 年度 貯金事業に関する事業計画 .....	1
<b>1. 平成 24 年度における貯金事業の概況</b>	
(1) 組合員貯金の状況 .....	2
(2) 事業運営の経過 .....	2
(3) 貯金経理の状況 .....	3
(4) 貯金経理の資産構成割合 .....	4
(5) 預金の銀行別運用状況 .....	4
(6) 債券の種類別運用状況 .....	4
<b>2. 過去 5 年分の事業状況</b>	
(1) 組合員貯金の状況 .....	5
(2) 貯金経理資産の運用状況 .....	6
(3) 当期利益金と利益剰余金の状況 .....	6
(欠損金補てん積立金及び積立金)	
<b>3. 取引金融機関の経営状況</b>	
(1) 自己資本比率 .....	7
(2) 格付け .....	7

## 共 済 組 合 の 貯 金 事 業

佐賀県市町村職員共済組合の貯金事業は、地方公務員等共済組合法に基づき、組合員の福祉の増進に資するため、組合員の貯金の受入れ又は運用を行い、その収益を還元することを目的に運営しております。

### ◆ 平成 24 年度 貯金事業に関する事業計画

貯金事業運営にあっては、組合員の退職に伴う解約額の増加は続くものの払戻額の減少により、貯金残高の減少が納まり平成 24 年度末で 168 億円の残高が見込まれる。

事業の安定的運営を保持するため、現行の支払利率「年利 0.6%」を維持し、資金の安全かつ効率的運用を図るとともに、新規加入者の促進及び既加入者の積立の促進を図るものとする。

- 1 新規加入者の加入推進及び既加入者の貯金事業の積極的利用の推進を図るため、各種会議での推進及び広報紙等により積極的推進に努める。
- 2 貯金経理の資産の管理運用については、今後の支払資金の動向を的確に把握し管理するとともに、最近の金融市場の変動に十分注意を払い資産の安定的な運用を図るため、引き続き安全かつ効率的な運用に努める。
- 3 事業の安定的運営を保持するため貯金事業の制度内容・運用状況について十分な認識と理解を得られるよう適切な情報の提供に努める。

## 1. 平成24年度における貯金事業の概況

### (1) 組合員貯金の状況

(単位：円、人、%)

貯金の種類 区分	積立貯金		
	24年度末	23年度末	比較増△減
貯金額	16,556,690,896	16,517,381,908	39,308,988
貯金者数	4,724	4,850	△126
1人当たり貯金額	3,504,803	3,405,646	99,157
組合員加入率	52.92	53.73	△0.81
支払利率	0.6	0.6	0

### (2) 事業運営の経過

#### 支払利率「年利0.6%」の維持

組合員の大量退職に伴う貯金残高の減少及び加入率の低下が続く中、事業の安定的運営を図るための方策として支払利率を平成19年度から0.1%引き上げ、「年利0.6%」とし、平成24年度においても現行利率を維持し、既加入者の積立意欲の高揚を図るとともに、新規加入の推進を図った。

#### 未加入者の加入推進

未加入者の加入の推進を図るため、広報誌による貯金事業のPRを行うとともに、事務担当者説明会、新入組合員研修会において、推進を行った。

#### 払戻額及び解約額の減少で前年度末より3千9百万円の貯金残高増加

「積立額」は前年度より68,339千円、2.5%減少した。一方、「払戻額」は前年度より46,364千円、2.8%減少し、「解約額」は前年度より305,187千円、21.7%減少の、1,102,100千円（前年度末貯金残高の6.7%）となった。

その結果、24年度末貯金額は、前年度より39,309千円増加し、16,556,691千円となった。

### (3) 貯金経理の状況

#### 貸借対照表 (25年3月31日)

(単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
流動資産	<b>2,614,541,876</b>	流動負債	<b>16,566,638,757</b>
普通預金	1,957,062	組合員貯金	16,556,690,896
通知預金	600,000,000	未払費用	12,900
定期預金	1,986,000,000	預り金	9,934,961
未収収益	26,584,814	固定負債	<b>41,518,590</b>
		退職給与引当金	41,518,590
固定資産	<b>14,975,601,881</b>		
投資有価証券	14,975,601,881	剰余金	<b>981,986,410</b>
		欠損金補てん積立金	827,834,545
		積立金	154,151,865
資産合計	<b>17,590,143,757</b>	負債・純資産合計	<b>17,590,143,757</b>

#### 損益計算書 (24年4月1日から25年3月31日まで)

(単位：円)

損 失	金 額	利 益	金 額
経常費用	<b>126,665,321</b>	経常収益	<b>212,598,952</b>
支払利息	99,837,033	利息及び配当金	211,285,952
職員給与	19,111,205	償還差益	1,313,000
その他	7,717,083		
当期利益金	<b>85,933,631</b>		
当期利益金	85,933,631		
合 計	<b>212,598,952</b>	合 計	<b>212,598,952</b>

#### 収支の状況

経常収益の運用収入 212,598,952 円に対し、経常費用は、支払利息 99,837,033 円を含む事業費用 126,665,321 円で、差引 85,933,631 円の当期利益金を生じた。

#### 利益剰余金の処分

当期利益金 85,933,631 円の内から、1,965,449 円を欠損金補てん積立金に積立て、残りの 83,968,182 円を積立金に積立てた。

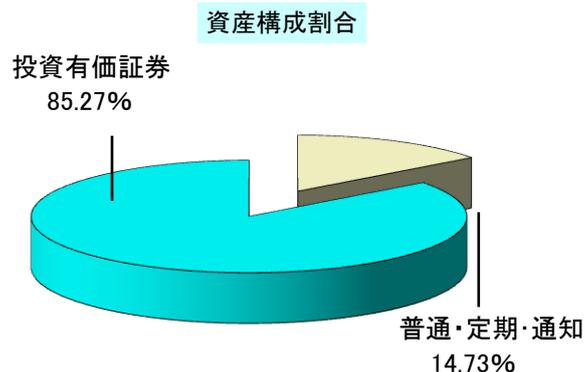
したがって、23 年度より繰り越した欠損金補てん積立金 825,869,096 円と 1,965,449 円を合わせ、翌年度に繰り越す欠損金補てん積立金は 827,834,545 円となる。

また、積立金は、前年度より繰り越した 70,183,683 円と 83,968,182 円を合わせ、154,151,865 円を翌年度へ繰り越すこととなる。

#### (4) 貯金經理の資産構成割合(平成24年度末)

(単位：千円、%)

資産区分	金額	割合
普通・定期・通知預金	2,587,957	14.73
投資有価証券	14,975,602	85.27
計	17,563,559	100.00

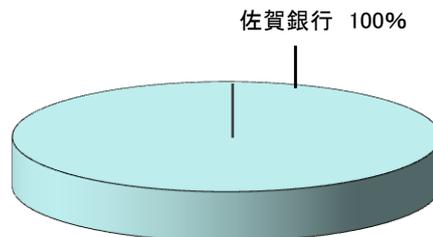


#### (5) 預金の銀行別運用状況(平成24年度末)

(単位：千円、%)

銀行名	金額	割合
佐賀銀行	2,587,957	100.00
計	2,587,957	100.00

預金の銀行別運用状況

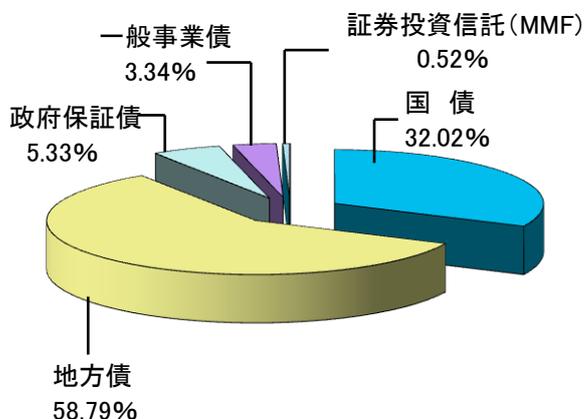


#### (6) 債券の種類別運用状況(平成24年度末)

(単位：千円、%)

種類	金額	割合
国債	4,794,387	32.02
地方債	8,804,518	58.79
政府保証債	798,208	5.33
一般事業債	500,000	3.34
証券投資信託(MMF)	78,489	0.52
計	14,975,602	100.00

債券の種類別運用状況

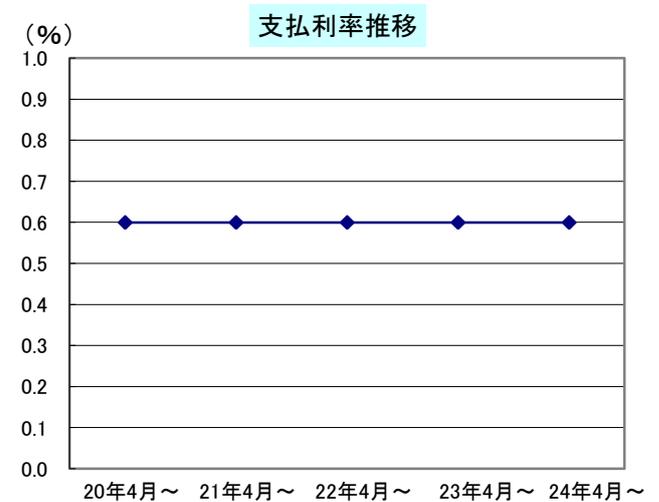
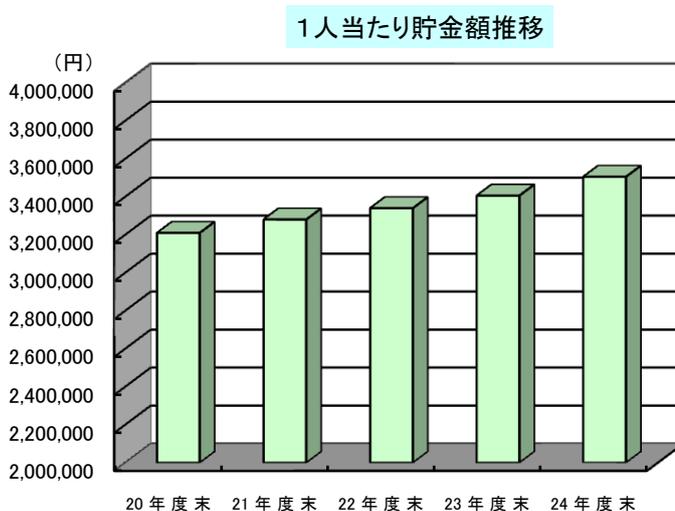
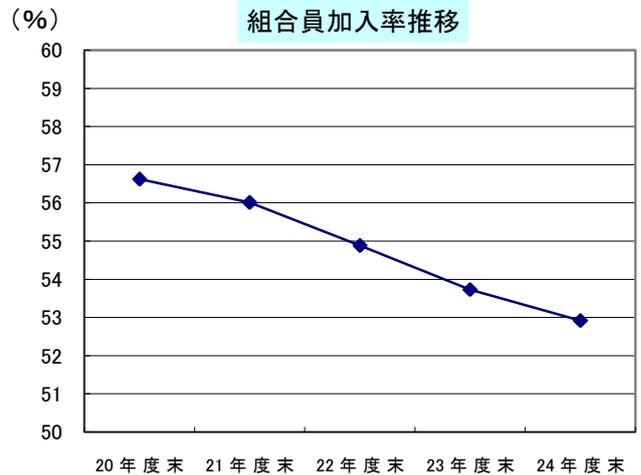
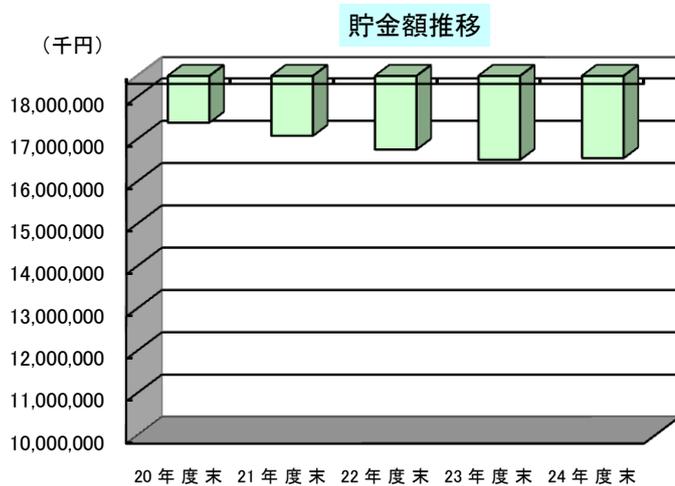


## 2. 過去5年分の事業状況

### (1) 組合員貯金の状況

(単位：円、人、%)

区 分	20年度末	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末
貯 金 額	17,395,601,830	17,085,929,168	16,761,050,243	16,517,381,908	16,556,690,896
貯 金 者 数	5,420	5,209	5,019	4,850	4,724
1人当たり貯金額	3,209,520	3,280,078	3,339,520	3,405,646	3,504,803
組合員加入率	56.62	56.01	54.88	53.73	52.92
支 払 利 率	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6

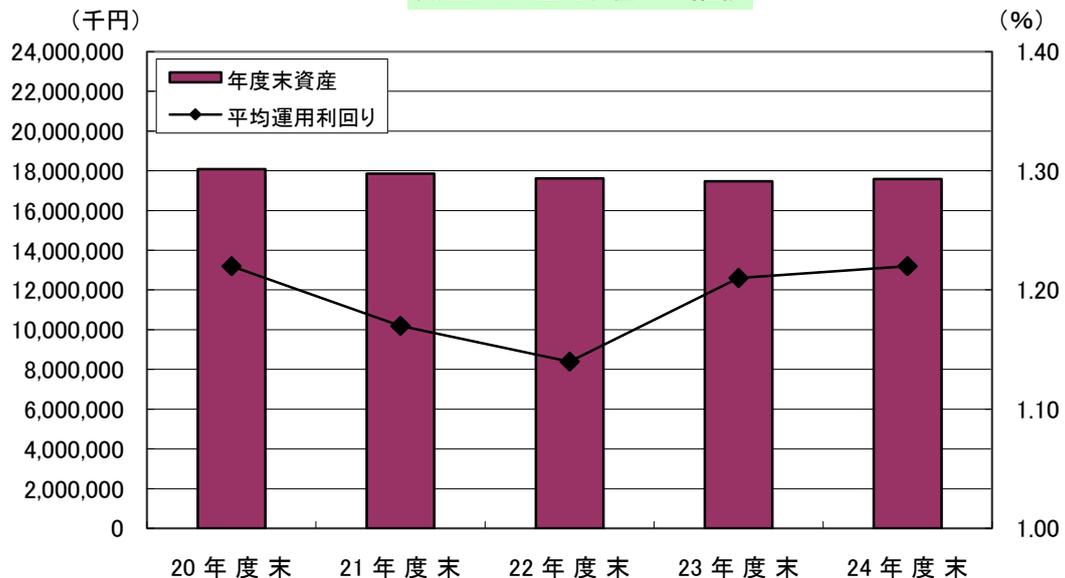


## (2) 貯金経理資産の運用状況

(単位：円、%)

区 分	20 年度 末	21 年度 末	22 年度 末	23 年度 末	24 年度 末
年 度 末 資 産	18,087,324,926	17,856,692,101	17,626,563,557	17,471,652,995	17,590,143,757
資 産 の 運 用 利 益 金	222,021,870	209,922,702	200,821,855	211,825,759	212,598,952
平 均 運 用 利 回 り	1.22	1.17	1.14	1.21	1.22

資産及び運用利回りの推移



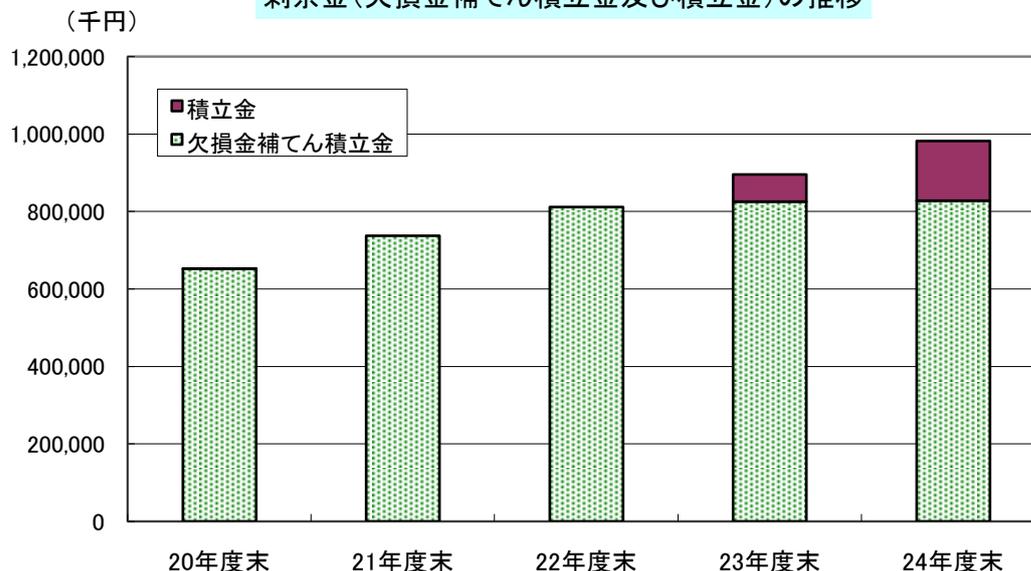
## (3) 当期利益金と利益剰余金の状況(欠損金補てん積立金及び積立金)

(単位：円)

区 分	20 年度 末	21 年度 末	22 年度 末	23 年度 末	24 年度 末
当 期 利 益 金	91,693,883	84,423,787	74,207,600	84,592,256	85,933,631
欠 損 金 補 て ん 積 立 金	652,829,136	737,252,923	811,460,523	825,869,096	827,834,545
積 立 金	—	—	—	70,183,683	154,151,865

欠損金補てん積立金： 共済組合法施行規程第87条第2号の規定により、将来の欠損金の補てんに充てるため、毎事業年度末において「当期利益金」を組合員の貯金額の100分の5以上に達するまで「欠損金補てん積立金」として積立てなければならない。

剰余金(欠損金補てん積立金及び積立金)の推移



### 3. 取引金融機関の経営状況

#### (1) 自己資本比率

(単位：%)

取引金融機関名	20年度末	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末
佐賀銀行	10.50	11.13	11.61	11.17	11.02



自己資本比率：貸出残高、保有有価証券などの総資産に占める資本金・引当金など、内部資金の割合。  
 海外に拠点を持つ銀行の場合、国際決済銀行(BIS)の規制(国際統一基準)で8%以上、また、国内業務に特化した銀行の場合、4%以上の比率を維持することが求められる。  
 健全性の目安となるこうした基準を下回った場合は、一部の業務停止などを含む早期是正措置が金融監督庁から発動され、自己資本の早期回復が求められる。

#### (2) 格付け

平成25年3月現在 R&I (日本格付投資情報センター)

取引金融機関名	格付
佐賀銀行	A-

#### 格付けの定義

AAA	信用力は最も高く、多くの優れた要素がある。
AA	信用力は極めて高く、優れた要素がある。
A	信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
BBB	信用力は十分であるが、将来環境が大きく変化する場合、注意すべき要素がある。
BB	信用力は当面問題ないが、将来環境が変化する場合、十分注意すべき要素がある。
B	信用力に問題があり、絶えず注意すべき要素がある。
CCC	信用力に重大な問題があり、金融債務が不履行に陥る懸念が強い。
CC	発行体のすべての金融債務が不履行に陥る懸念が強い。
D	発行体のすべての金融債務が不履行に陥っているとR&Iが判断する格付。

(注) +-は同じ格付け内での優劣を示す。

格付け：債券、コマーシャルペーパー(CP)、資産担保債権(ABS)などの元本、利子の支払いの安全の度合いを、投資家のだれにでもわかる簡単な記号で示したもの。  
 企業の収益、財務状況、経営力、受託契約の内容などを、総合的に評価したうえで格付けする。  
 [主な格付機関] R&I (日本格付投資情報センター)、JCR(日本格付研究所)、Moody's(ムーディーズ社)